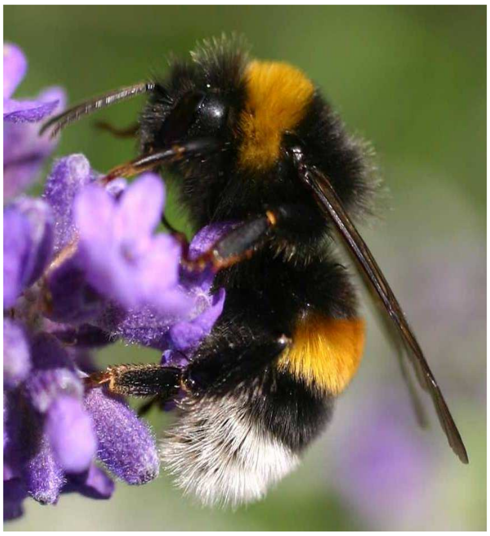
公開講演会

セイヨウオオマルハナバチの生態

−北海道の現状と影響−



セイヨウオオマルハナバチ

（レモン色と尾は白色）

さまざまな花を訪れ受粉を助けるマルハナバチ、野生の植物だけでなく、農業にも大きく貢献しています。一方、国の特定外来生物に指定されたセイヨウオオマルハナバチは野生化して在来のマルハナバチに負の影響を与えているといわれています。

講演では、マルハナバチと花の密接な関係を紹介するとともに、セイヨウオオマルハナバチの生態系への影響、駆除の考え方などについてお話しします。参加をお待ちしています。

日時：平成２９年４月９日（日）15：00～16：30

場所：札幌エルプラザ２階　環境研修室 １・２ （札幌市北区北８条西３丁目）

講演：「送粉昆虫としてのマルハナバチ　そして　外来生物セイヨウオオマルハナバチの分布拡大と生態系にもたらす影響」

講師　西川洋子　氏（北海道立総合研究機構環境科学研究センター 自然環境部生態系保全グループ　研究主幹　）

主催：北海道自然観察協議会

定員：70 名　（事前参加申込不要）　　参加料：無料

問い合せ先　横山武彦（北海道自然観察協議会）

電話:011-387-4960　E-mail:y-hiko@rapid.ocn.ne.jp